

# 大学・企業連携による ICT 導入・活用事例紹介

日時：9月5日（水）12:30～17:00 / 9月6日（木）10:00～17:30 会場：5F 廊下

ポスターセッション形式による、大学・企業共同の ICT 導入・活用事例の紹介です。ご自由にご覧下さい。

No.	導入事例	大学	協力企業
1	授業支援システム「IT's class.」の全学導入から活用まで	東海大学	日立公共システムエンジニアリング株式会社
2	『ICT+デザイン』による、学びの場のイノベーション ～主体的な学びを加速させる学習空間～	神奈川大学	株式会社内田洋行
3	モバイルデバイス向けポータルシステムiMeiji の導入	明治大学	株式会社 SCSK
4	ポータルサイトを活用した来日・入学前から始まる学習サポート 授業支援システムの利用率向上の取組	関西大学 東洋大学	株式会社朝日ネット
5	ICTを活用した視聴覚基盤	津田塾大学	電子システム株式会社
6	名城大学・日立製作所 VCL(Virtual Computing Lab.)のご紹介	名城大学(予定)	株式会社日立製作所
7	プライベートクラウド統合パッケージ Cloud Ready Blocks(CRB)導入による 教育研究サービスの利便性向上	関東学院大学	富士通株式会社
8	PC 管理システム「V-BOOT」による図書館内貸出 PC 運用事例	明治大学	株式会社アルファシステムズ
9	交通系電子マネーを利用したプリントシステム導入事例	東京電機大学	富士ゼロックス株式会社
10	LMS - dotCampus 活用事例	神奈川大学 神戸学院大学	インターレクト株式会社

## ●各大学と協力企業の配置 5F

窓（壕側）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
東海大学	神奈川大学	明治大学	関西大学 東洋大学	津田塾大学	名城大学(予定)	関東学院大学	明治大学	東京電機大学	神奈川大学 神戸学院大学
日立公共システム	内田洋行	SCSK	朝日ネット	電子システム	日立製作所	富士通	アルファシステムズ	富士ゼロックス	インターレクト
← 受付、エレベータ			廊下						
					(テーマ別自由討議/発表会場)				

## ●事例の概要紹介（討議・発表会場でのプレゼンテーション）スケジュール

テーマ別自由討議や発表会場にて、昼休憩の前に、各事例の概要紹介を行いますので、ぜひご覧下さい。

9月5日（水）

	5F 大雪	5F 穂高西
	分科会 A	分科会 B
12:30	富士通	富士ゼロックス
12:33	朝日ネット	アルファシステムズ
12:36	インターレクト	SCSK
12:39	内田洋行	日立公共システム
12:42		電子システム

9月6日（木）

	5F 穂高東	5F 穂高西	5F 大雪東
	発表グループ A	発表グループ B	発表グループ C
11:50	内田洋行	朝日ネット	日立公共システム
11:53	富士ゼロックス	SCSK	富士通
11:56		電子システム	アルファシステムズ
11:59			インターレクト
12:02			日立製作所

## ●事例内容

### No.1 授業支援システム「IT's class.」の全学導入から活用まで

東海大学 / 日立公共システムエンジニアリング株式会社

大学を取り巻く環境が厳しさを増す中、学生に選ばれる大学づくりを進めるため、各大学は ICT を活用した授業運営の改善や質の高い講義コンテンツの拡充、効率的で付加価値の高い学習環境作りなどに力を注いでいます。

東海大学は、全国 10 キャンパス、21 学部 90 学科・専攻・課程を擁する日本最大級の総合大学です。2011 年 4 月に授業支援システム「IT's class.」を導入し、対面授業を効果的に行うための各種支援機能や、入学前学習も含めた LMS※（学習管理システム）基盤、PC や携帯電話での出欠管理機能を活用し、教職員の運用負担を大幅に軽減しながら、本来の教育に専念できる環境を整備し、魅力ある大学づくりを推進しています。

### No.2 『ICT+デザイン』による、学びの場のイノベーション ～主体的な学びを加速させる学習空間事例～

神奈川大学 / 株式会社内田洋行

近年、学生自身が、主体的・能動的に学習に取り組み、協働しながら学習に取り組む「新しい教育・学習スタイル」が注目、実践されています。

- ・学生同士の教え合いや学び合い
- ・教員と学生による双方向の授業支援
- ・グループワークによる学生の主体的な学習形態
- ・1人1台の ICT 端末を持つことによる個々の学習の充実等

神奈川大学教育支援センター KU スクエアでの実践事例を中心に『ICT×デザイン』を意識した『学生主役の教育空間』や『アクティブラーニング』を紹介します。

**No.4 ポートフォリオを活用した来日・入学前から始まる学習サポート** 関西大学／株式会社朝日ネット

関西大学日本語・日本文化教育プログラム（留学生別科）は、2012年4月に新設された、日本国内の大学・大学院へ進学する留学生が学ぶ1年間のプログラムです。日本語能力に加え、英語や数学、理科系科目などの基礎知識、及び現在社会において必須であるICT能力も同時に養成するカリキュラムとなっています。

限られた期間の中で多くの「学び」を効率的かつ効果的に学習者に与え、定着を図るため、既存の学内システムに加え、manaba folioを用いて入学前から学習者の学習サポートを行っています。課題提出及び成果物の選抜と保存、学生カルテ、学生間・教師間コミュニティ等、教室の内外でポートフォリオを活用することによって、「manaba folio 利用＝真正な日常の活動の一部」として学習活動に組み込み、学習者のアカデミックライフの一部として有機的に運用しています。

**授業支援システムの利用率向上の取組**

東洋大学／株式会社朝日ネット

東洋大学では、2010年4月に「manaba course」を全学導入しました。

学部・学科をまたぐ共通科目でも利用できるよう、学部・大学院に在学する3万人以上の学生の「教育のための共通インフラ」として位置づけています。教員と学生間のコミュニケーションツールとして、授業を側面から支援し、教育効果を上げています。教育支援システムは対面授業の代わりではなく、授業を補完するものであるというコンセプトの下で、誰でも簡単に使える製品を模索してきました。

「manaba course」は、従来の製品に比べ必要な機能に絞られており、インターフェイスがシンプルで使い勝手がよく、マニュアルを読まなくても教員・学生共にすぐに使い出すことができる点が評価され採用に至りました。クラウド型により学内サーバの運用が不要で、レポート締切日の大量同時アクセスにも耐えるシステムを実際に提供している点についても評価されています。

**No.5 ICTを活用した視聴覚基盤** 津田塾大学／電子システム株式会社

津田塾大学5号館（視聴覚センター）は、今では一般教室等に当然供えられている視聴覚設備環境と管内各教室材制作室より配信する設備を1990年の竣工当初より有し、様々な教授メディアの活用による教育の推進向上を図ってきました。

これまで映像情報やメディア環境の多様化に対しては、末端機器等の更新で対応してきましたが、地上波デジタル放送に代表されるHigh Definitionを教育に活用するためには、末端機器の更新だけでは基幹設備との総合的な整合性をとることが困難となっていました。

今回行った基盤設備の更新にあたっては、映像・音声をデジタル信号で伝送する通信インタフェースであるHDMI(High-Definition Multimedia Interface)を中核に置き、館内の伝送媒体として光ケーブルによるネットワークの構築、高解像度プロジェクターの設置、タッチパネルによる機器操作環境の提供等、鮮明な映像表示による現実感ある授業の実現や容易な教授メディアの切替による授業運営の効率化等、5号館が担ってきたICTを活用した教育環境の更なる充実をはかることを目的に実施しました。

**No.6 名城大学・日立製作所 VCL(Virtual Computing Lab.)のご紹介** 名城大学(予定)／(株)日立製作所  
会場にて紹介いたします。

**No.7 プライベートクラウド統合パッケージ Cloud Ready Blocks(CRB)導入による教育研究サービスの利便性向上** 関東学院大学／富士通株式会社

関東学院大学様は学内クラウド構想の第3ステップとして、研究教育サービスの利便性向上を目的に、富士通のプライベートクラウド統合パッケージ「Cloud Ready Blocks(CRB)」を導入。

パソコン教室の運用系サーバを仮想集約するとともに、教員向けにセルフサービスポータルによる仮想サーバの自動貸出サービスを実現。初期導入コストを40%削減するとともに、春期休業期間中の短期構築を実現しました。

**No.8 PC管理システム「V-BOOT」による図書館内貸出PC運用事例** 明治大学／株式会社アルファシステムズ

明治大学では、2012年5月、和泉キャンパスに新図書館を開館しました。図書館内では、学生向けサービスとしてPCの貸出を行っており、そのPCの管理システムとして、『V-Boot』を導入しました。

PCの貸出サービスでは、利用者にMS Officeやブラウザ等をインストールしたWindows7の同じ環境を提供するため、環境復元とイメージ配信の機能が必要となります。これまではクローニング方式により、HDDのコピーをしておりましたが、ノートPCを回収して作業をする手間がかかっていた。

今回、無線LANに対応しているV-Bootにより、ノートPCへのイメージ配信を行い、管理コストの削減を実現しています。また、イメージ配信の際に運用を停止する必要がなく、利便性の高いサービスを提供しています。

ブースでは、明治大学での運用イメージとV-Bootの特長について、デモを交えて紹介いたします。

**No.9 交通系電子マネーを利用したプリントシステム導入事例** 東京電機大学／富士ゼロックス株式会社

東京電機大学様は2012年4月に東京千住キャンパス(100周年記念キャンパス)の開設とともに、次にあげる基本コンセプトを実現できるシステム構築を図りました。

1. 安心、安全で、利便性の高いシステム
2. 環境にやさしいエコロジカルなシステム

この基本コンセプトをもとに、利用者(管理者含)にとって安心、安全であり、且つ、効率の良い印刷環境の実現に向けたプリントシステムの導入を目指し、学生の利便性を考慮した結果、学生が気軽に利用可能な「Suica」や「PASMO」などの交通系の非接触型ICカードでのコピーやプリント、スキャンサービスが私立大学様で初めて導入しました。

現在は一部のみ(図書閲覧室)のサービスですが、東京電機大学様の今後の構想としては、更なる学生の利便性向上を目的として、教室等への同様のサービス展開を目指しています。

**No.10 LMS - dotCampus 活用事例** 神奈川大学・神戸学院大学／インターレクト株式会社

<9月5日紹介：神奈川大学 dotCampus 全学導入により雑務の効率化>

神奈川大学では、多種類のシステム利用により作業が煩雑だったことから、学内のシステム統合を目指し、2009年4月から全学でdotCampusを導入しました。月間ユニークユーザー数は、導入初年度の4,000名から、現在では12,000名に増加し、携帯向けツールを含め多くの機能を積極的に活用しています。

その結果、雑務の作業効率が大幅にアップし、教員は、本来必要な教育に多くの時間が使えるようになりました。

<9月6日紹介：神戸学院大学 dotCampus で活気ある講義を実現>

神戸学院大学では、2003年から薬学部を中心にdotCampusを導入し、徐々にシステムが定着、月間ユニークユーザー数は4,200名に増加しました。現在も着実にユーザー数が増え続けています。

相互コミュニケーションツールとして積極的に活用し、学生からのフィードバックを講義改善に取り入れ、学生参加型の活気ある講義が実現しています。